

テレビを活用した情報発信

SBC信越放送で「1995年7月豪雨災害から25年」を放映

7月11日(土)に、SBC信越放送で「川と生きる 谷をまもる～7.11災害から25年 砂防堰堤の役割～」が放映されました。この番組は、白馬村、小谷村に甚大な被害をもたらした「平成7年7月11日豪雨災害」から25年目の節目に、被災後に整備された砂防堰堤を訪ね、その役割や特徴を学ぶとともに、再び災害に見舞われないために、地域はどう防災に取り組んできたかを紹介したものです。放送では、小谷小学校の5年生に「7.11災害を学んで思ったことや、ふるさと小谷村への思い」をパネルに書いていただき紹介させていただきました。

放映された画像

